

Iwami Art Museum

平成22
[2010]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2010- March 2011

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	13
コレクション展	19
その他の展覧会	27
教育普及活動	28
ボランティア	31
連携事業	32
所蔵作品一覧	33
新収蔵作品一覧	46
所蔵作品貸出実績	47
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	48
収支概要	49
島根県芸術文化センター条例	50
島根県立石見美術館管理規則	55
施設概要	58
運営組織体制	61
利用案内	62

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1: 芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2: 芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3: 非日常空間の提供
- 4: 世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1: 幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2: 地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3: 美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4: 美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1: 芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2: 優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3: 舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	花とともに ー日本美術の500年／室町時代から現代までー	平成22年 4月23日～5月31日
		本池秀夫 革の世界	平成22年 7月16日～8月30日
		神々のすがた 古事記と近代美術	平成22年 9月17日～11月7日
		ロボットと美術 ー機械×身体のビジュアルイメージー	平成22年11月20日～ 平成23年1月10日
		島根県立美術館名品展 夕日につつまれる湖畔のミュージアムから	平成23年 2月9日～3月21日
特別展	展示室A	石見ゆかりの洋画	平成22年 7月7日～10月4日
		雲谷派 ー雪舟を継ぐ者たちー	平成23年 1月2日～2月28日
	展示室B	石見の根付	平成22年 4月28日～7月19日
		神々が舞う ー神楽衣装の美ー	平成22年 9月8日～11月8日
	展示室C	並河萬里写真展 神々の座 出雲	平成22年 8月27日～11月15日
コレクション展	展示室A	森鷗外と交友の画家たち	平成22年 4月21日～7月5日
		開館5周年記念 5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!	平成22年 10月8日～12月26日
		素描・水彩・版画の世界	平成23年 3月2日～4月4日
	展示室B	昼の服／夜の服	平成22年 7月21日～9月5日
		クリストバル・バレンシアガ	平成22年11月11日～ 平成23年1月30日
		ウィーンファッションと工芸	平成23年 2月3日～4月18日
	展示室C	クリスチャン・ディオールとイヴ・サンローラン	平成22年 4月22日～6月21日
		ロシア・アヴァンギャルドのデザイン	平成22年 6月23日～8月22日
		肩で着る服／腰で着る服	平成23年 1月14日～3月28日
その他の展覧会	展示室D	(財)独立書人団島根県支部 第32回 益田ブロック書展	平成22年 6月17日～6月21日
		2010文化を育むinますだ 第29回益田市美術展	平成22年 6月24日～27日
		第42回島根県総合美術展(県展)移動展	平成23年 1月20日～1月23日
		全島根図画作品展 益田・鹿足展	平成23年 1月27日～1月31日

企画展 花とともに ー日本美術の500年／室町時代から現代までー



ポスター



会場



会場



ギャラリートーク

展覧会名：花とともに ー日本美術の500年／室町時代から現代までー

会 期：平成22年4月23日(金)～5月31日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし5月4日は開館、5月6日は休館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
 前売券[企画・コレクション展セット]
 一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金。

* 小中高生の学校利用は無料。

* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、(財)自治総合センター、中国新聞社、BSS山陰放送

内 容

室町文化フェスティバルに協賛し、室町時代に成立した生け花(立花)にちなんで開催。室町時代の花鳥画や花伝書、江戸時代の屏風や掛軸、近現代の日本画・洋画、また陶器や着物・ドレスといった工芸品・衣裳、さらには現代アートまでを含むあらゆるジャンルの作品およそ60点を展示した。

新聞、雑誌掲載

- 山陰中央新報4月10日 椋木賢治 グラントワ通信「花の展覧会」
- 読売新聞4月15日 花いっぱいプロジェクト紹介記事
- 毎日新聞4月17日 花いっぱいプロジェクト紹介記事
- 中国新聞4月17日 花いっぱいプロジェクト紹介記事
- 山陰中央新報4月17日 花いっぱいプロジェクト紹介記事
- 中国新聞4月20日 会場設営取材
- 山陰中央新報4月23日 開幕記事
- 読売新聞4月25日 展覧会紹介記事
- 中国新聞4月28日 作品紹介 椋木賢治 利休作「竹一重切花入」
- 毎日新聞4月29日 展覧会紹介記事
- 中国新聞4月29日 作品紹介 椋木賢治 「花王以来の花伝書」
- 中国新聞4月30日 作品紹介 椋木賢治 「草花図襖」
- 新美術新聞5月1・11日合併号 椋木賢治 展覧会紹介記事
- 中国新聞4月30日 椋木賢治 展覧会紹介記事
- 中国新聞5月1日 川西由里 岡田三郎助「黒き帯」
- 中国新聞5月2日 椋木賢治「紅地流水に遠山桜文刺繍振袖」
- 中国新聞5月13日 展覧会紹介記事
- THE JAPAN TIMES 5月14日 展覧会紹介記事

印 刷 物

展覧会図録「花とともに ー日本美術の500年／室町時代から現代までー」

内 容：図版 カラー54点

執 筆：椋木賢治「花とともに ー日本美術と花のこころー」

判 型：A4変形 96ページ

編 集：椋木賢治

デザイン：野村デザイン制作室

印 刷：大村印刷株式会社

発 行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4(2種類)

割 引 券：ポストカードサイズ

子どもガイド：「花のしおり」(オリジナル鉛筆も作成)

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会：「室町文化と花のこころ」

講 師：村井康彦(京都市美術館館長 国際日本文化研究センター名誉教授)

日 時：4月24日(土)14:00～15:30

会 場：講義室



講演会

聴講者：47名

美術講座：「花とともにー日本美術と花のころー」

講師：椋木賢治(当館主任学芸員)
 日時：5月1日(土)14:00～15:30
 会場：講義室
 聴講者：7名



ワークショップ

ワークショップ「かんたん!かわいい!バラのブローチをつくろう」

樹脂粘土をつかったバラ型のブローチを作成した。
 講師：当館ボランティアスタッフ
 日時：5月16日(日)14:00～16:00
 会場：講義室
 参加者：30名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
 日時：5月2日(日)、5月15日(土)、5月30日(日)いずれも14:00～
 会場：展示室D

グラントワ tea ガーデン「和花茶(わかちゃ)」

日時：5月22日(土)11:00～
 会場：美術館ロビー
 参加者：100名

オリジナル手ぬぐいプレゼント

会期中毎日先着25名に展覧会オリジナルの手ぬぐいをプレゼントした。

花いっぱいプロジェクト

企画展の開催にあわせ、JR益田駅前からグラントワ前までの歩道に花のプランターを設置。花の育成・植栽は島根県立益田翔陽高等学校に依頼。水やりは地元自治会の協力を得た。

企画展 本池秀夫 革の世界 LEATHER ART WORKS OF HIDEO MOTOIKE



ポスター



会場



特別ギャラリートーク

展覧会名: 本池秀夫 革の世界 LEATHER ART WORKS OF HIDEO MOTOIKE

会 期: 平成22年7月16日(金)~8月30日(月)

休 館 日: 毎週火曜日(ただし8月10日は開館)

観 覧 料: 当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円

* ()内は20名以上の団体料金。

* 小中高生の学校利用は無料。

* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催: 島根県立石見美術館、読売新聞大阪本社、美術館連絡協議会、日本海テレビジョン放送株式会社

協 賛: ライオン、清水建設、大日本印刷

内 容

本池秀夫(もといけ ひでお/1951年生まれ、米子市在住)は、レザー・アーティスト。老人や子供の何気ない日常のひとコマを題材とした「革の人形」や、実在の動物を等身大で表現した「革の動物」を主軸として制作活動を展開している。

本展は、本池が20代に制作した初期作品から、初公開の最新作品まで約70点を展示し、革表現の可能性を追求してきた本池の約40年にわたる活動を概観する試み。

新聞、雑誌掲載

織研新聞6月22日 展覧会紹介記事

『Ladiesますだ』7月号 6月28日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月3日 廣田理紗 グラントワ通信「40年の創作活動を概観」

中国新聞7月4日 展覧会紹介記事

日本経済新聞7月7日 展覧会紹介記事

読売新聞7月8日 展覧会紹介記事

読売新聞7月12日 開幕記事 「『革の世界』きょうから リアルさ追求の70点展示」

毎日新聞7月16日 開幕記事 「実物大キリンお出迎え」

読売新聞7月16日 内覧会報告記事 「緻密な革細工に感嘆」

読売新聞7月17日 展覧会紹介記事 「革の動物園 生き生き」

読売新聞7月18日 ワークショップ報告記事 「革細工 曲げてあぶって」

読売新聞7月21日 関連イベント報告記事 「美術館で夜のサファリ」

読売新聞7月23日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

オスライオン「頼れるお父さんの表情」作品紹介記事

読売新聞7月25日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

ピエロI「華やかさの下に悲しみ」作品紹介記事

中国新聞7月25日 展覧会紹介記事 「キリンやゾウ 革でリアルに」

タウン情報「ラズダ」8月号 7月25日 展覧会紹介記事

『Ladiesますだ』8月号 7月28日 関連イベント紹介記事

読売新聞7月29日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

Memory Energy(気力)「40年分端革に人生凝縮」作品紹介記事

読売新聞7月31日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

アトリエ再現「作品の台にもこだわり」作品紹介記事

ANAグループ機内誌『翼の王国』8月号 8月1日 展覧会紹介記事

読売新聞8月4日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

TOYS MUSEUM「おもちゃ通じドラマ」作品紹介記事

読売新聞8月11日 関連イベント報告記事 「本池さん「革の世界」解説」

読売新聞8月6日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

あこがれ(バイク)「おじいさん 自分の未来像」作品紹介記事

読売新聞8月14日 話し手: 本池秀夫、聞き手: 廣田理紗

アフリカ象「大きさ 単純に驚いて」作品紹介記事

毎日新聞8月17日 展覧会紹介記事

読売新聞8月18日 展覧会紹介記事 「こどもガイド人気」

山陰中央新報8月19日 関連イベント紹介記事「グラントワ(益田)企画展 ライオンちゃんPR」

島根日日新聞8月20日 展覧会紹介記事 「こどもガイド人気」

読売新聞8月23日 関連イベント紹介記事 「本物のアトリエになった」



ワークショップ



美術館ナイトサファリ



ライオンちゃんタオルハンカチ



来場者1万人達成

毎日新聞8月25日 関連イベント紹介記事 「制作過程を公開」
読売新聞8月30日 1万人達成記事 「本池秀夫展1万人」

印刷物

展覧会図録『LEATHER ART WORKS OF HIDEO MOTOIKE』

内容：図版 カラー32点

執筆：廣田理紗 「「本物らしさ」を求めて ―全体を支える豊かな細部―

判型：B6変形 48ページ

編集：廣田理紗

デザイン：グラフィック・グループ・トゥエルヴ

印刷：株式会社ナンカイ紙工社

発行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4(デザイン：以上グラフィック・グループ・トゥエルヴ)

割引券：名刺サイズ

子どもガイド：「革の動物園にいこう!」(デザイン：金沢美奈子)

関連事業

特別ギャラリートーク

講師：本池秀夫

日時：7月17日(土)、18日(日)、19日(月・祝)、24日(土)、25日(日)、31日(土)、
8月1日(日)、12日(木)、13日(金)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日
(日)、28日(土)、29日(日)、30日(月) いずれもお客様が集まり次第随時

会場：展示室D

ワークショップ「革で小さな動物をつくろう!」

本池秀夫の指導で、本格的なレザー・クラフトの体験ができる機会とした。

講師：本池秀夫

日時：7月17日(土)、31日(土)、8月21日(土) 全3回 各日13:00~16:00

対象：小学校4年生以上

会場：講義室

参加者：68名

美術館ナイトサファリ

展示作品が等身大の「革の動物」であることから、展示室の照明を落とし、懐中電灯を手に夜の展示室を探検しながら歩くイベントを実施した。

日時：7月19日(月・祝)、8月7日(土)、14日(土) 全3回 各日20:00~21:00

会場：展示室D

参加者：51名

グラントワ tea ガーデン「癒茶(いやしちや)」

日時：7月24日(土)、8月14日(土) 各日11:00~

会場：美術館ロビー

参加者：100名

「ライオンちゃん」が応援にくるよ!

本展覧会の為に新たに制作された「革の動物」がオスライオンであることにちなみ、協賛企業である株式会社ライオンの協力のもと、同社のキャラクター「ライオンちゃん」の着ぐるみが展覧会の応援に来る、というイベントを実施した。

日時：8月15日(日) 10:00~

会場：美術館ロビー

オリジナル「本革しおり」プレゼント

会期中の土・日・祝日先着20名に、展覧会特製オリジナル「本革しおり」をプレゼントした。しおりは、本池秀夫が主催する革製品のブランド「MOTO」と「島根県立石見美術館」とのダブルネームで制作した。

「ライオンちゃんタオルハンカチ」プレゼント

会期中毎日、子どもガイド「革の動物園にいこう!」を持ってクイズを解きながら展覧会を見た子ども全員に、協賛企業である株式会社ライオンより「ライオンちゃんタオルハンカチ」を提供いただき、配布した。

企画展 神々のすがた 古事記と近代美術



ポスター



会場



会場



講演会

展覧会名：島根県立石見美術館開館5周年記念展I 神々のすがた 古事記と近代美術
 会期：平成22年9月17日(金)～11月7日(日)

休館日：毎週火曜日

観覧料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金。

* 小中高生の学校利用は無料。

* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主催：島根県立石見美術館、財団法人島根県文化振興財団、山陰中央テレビジョン放送株式会社、中国新聞社

内容

開館5周年記念展として島根県にゆかりの深い古事記をテーマにした近代美術の作品約90点を展覧した。島根県立古代出雲歴史博物館の「神々のすがた 古代から水木しげるまで」展との連携事業。また神話の国しまね古事記1300年関連事業としておこなった。

新聞、雑誌掲載

神社新報9月6日 展覧会紹介記事

神社新報9月6日 真住貴子「絵で読む古事記」

毎日新聞9月10日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月14日 神武天皇立像搬入紹介

中国新聞9月17日 展覧会開幕

山陰中央新報9月17日 展覧会開幕

新美術新聞9月21日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月25日 真住貴子「神々のすがた古事記と近代美術展」

毎日新聞9月28日 展覧会紹介記事

中国新聞10月1日 真住貴子「芸術で見る神々のすがた」

読売新聞10月1日 展覧会紹介記事

中国新聞10月2日 作品紹介 真住貴子 鈴木松年「日本武尊・素戔嗚尊」

中国新聞10月3日 作品紹介 真住貴子 安田毅彦「草薙の剣」

中国新聞10月4日 作品紹介 真住貴子 青木繁「大穴牟知命」

中国新聞10月4日 講演会紹介記事

中国新聞10月5日 作品紹介 真住貴子 竹内久一「神武天皇立像」

中国新聞10月6日 作品紹介 真住貴子 堂本印象「木華開耶嬢」

中国新聞10月7日 作品紹介 真住貴子 平山郁夫「八雲立つ 出雲路古代幻想」

『美術の窓』10月号 10月20日 展覧会紹介記事

中国新聞10月22日 田原直樹「神話の名場面多彩に表現」

朝日新聞10月22日 森本俊司「オオクニヌシの出雲に出会う」

山陰中央新報10月25日 来場1万人達成記事

中国新聞10月25日 来場1万人達成記事

島根日日新聞10月26日 奥西秀樹「私の出雲神話」

山陰中央新報11月3日 勝田章「神々のすがた展によせて」

印刷物

展覧会図録「神々のすがた 古事記と近代美術」

内容：図版 カラー90点

執筆：澄川喜一「神武天皇をお迎えして」

真住貴子「近代美術にみる神々のすがた 風俗考証を中心に」

河野克彦 作家・作品解説

川西由里 作家・作品解説

判型：B5判 112ページ

編集：真住貴子、河野克彦、川西由里、椋木賢治、廣田里紗

デザイン：グラフィック・グループ・トゥエルヴ

印刷：岡村工業印刷株式会社

発行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折り

クイズブック：B6変形 8ページ

おみくじ形割引券(4種)：91×48mm蛇腹折り

(デザイン：すべてグラフィック・グループ・トゥエルヴ)



記念講演会「古事記神話と日本海」



美術講座

関連事業

記念講演会「なぜ歴史画は流行したか」

講 師：山梨俊夫(神奈川県立近代美術館館長)
 日 時：10月3日(日)14:00～15:30
 会 場：美術館講義室
 聴 講 者：30名

記念講演会「古事記神話と日本海」

講 師：三浦佑之(立正大学教授)
 日 時：10月24日(日)14:00～15:30
 会 場：講義室
 聴 講 者：40名

美術講座「美術でめぐる古事記の名場面」

講 師：真住貴子(学芸グループ課長)
 日 時：10月11日(月・祝)
 会 場：講義室
 聴 講 者：25名

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員
 日 時：9月19日(日)、10月16日(土)、11月6日(土) いずれも14:00～
 会 場：展示室D

クイズラリー 古事記のナゾに挑戦!

日 時：9月19日(日)、10月16日(土)、11月6日(土) 各日11:00～
 会 場：展示室D
 参 加 者：25名

グラントワ tea ガーデン「縁茶」

日 時：10月23日(土) 11:00～
 会 場：美術館ロビー
 参 加 者：100名

「縁結びの箸」プレゼント

会期中毎日先着30名に、オリジナル「縁結びの箸」をプレゼントした。

企画展 ロボットと美術 —機械×身体のビジュアルイメージ—



ポスター



チラシ



会場

展覧会名：島根県立石見美術館開館5周年記念展II ロボットと美術 —機械×身体のビジュアルイメージ—

会 期：平成22年11月20日(土)～平成23年1月10日(月・祝)

休 館 日：毎週火曜日(ただし11月23日は開館)、11月24日、12月28日～31日、1月1日

観 覧 料：当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円

* ()内は20名以上の団体料金。 *小中高生の学校利用は無料。

*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、朝日新聞社、日本海テレビジョン放送株式会社

助 成：財団法人地域創造

協 賛：株式会社出雲村田製作所、カレルチャベック紅茶展、静岡模型教材協同組合、株式会社タミヤ

協 力：株式会社キャラアニ

内 容

ロボットや、機械と身体の関係を表した作品を展覧し、芸術と科学技術の関わりや、ロボットのデザイン、そして私たちの身体観の変遷をふりかえった展覧会。未来派やシュルレアリスムといった20世紀初頭の美術作品から現代美術、アニメ、プラモデル、そして実際に制作されたロボットなど約250点を紹介した。あわせて本展のために制作したオリジナルアニメーションを上映した。

出品ロボットの動態展示が困難なため、関連プログラムとして動くロボットが見られるイベントやロボット工作教室を開催し、いずれも好評であった。展覧会特設ホームページでは青森会場開幕前の6月から島根会場終了後の3月末まで長期にわたる情報発信を行い、Twitterを利用してフォローの声をダイレクトに受け取るなどwebを利用した広報展開を行った。

なお、本展は本展は青森県立美術館、静岡県立美術館との共同企画展として開催し、2010年 美連協大賞「奨励賞」を受賞した。

新聞、雑誌掲載

朝日新聞10月24日 展覧会告知

『SFマガジン』11月号 11月1日 展覧会紹介記事

朝日新聞11月17日 展覧会告知

朝日新聞11月19日 作品紹介 川西由里 カレル・チャベック[R.U.R.(ロシア語初版)]

『美術の窓』11月号 11月20日 展覧会紹介記事

朝日新聞11月20日 CDプレゼント企画、講演会告知

朝日新聞11月20日 作品紹介 川西由里 古賀春江「現実線を切る主智的表情」

朝日新聞11月20日 開幕記事

山陰中央新報11月20日 開幕記事

山陰中央新報11月20日 川西由里「グラントワ通信 身近になったロボット」

朝日新聞11月22日 作品紹介 川西由里 相澤次郎「モデルロボット『五郎』君」

朝日新聞11月23日 作品紹介 川西由里 村田製作「ムラタセイサク君」

朝日新聞11月24日 作品紹介 川西由里 浅井真紀「初音ミク・アベンド」フィギュア

『Quant』12月号 12月1日 展覧会紹介記事

THE JAPAN TIMES12月3日 展覧会紹介

読売新聞12月16日 「4氏が選ぶ展覧会ベスト4」にて中川佑介氏(美術評論家)が紹介

中国新聞12月17日 展覧会紹介記事

朝日新聞12月24日 「クリスマス・ロボット工作教室」取材記事

朝日新聞12月26日 「ムラタセイサク君、セイコちゃんがやってくる!」取材記事

山陰中央新報12月28日 「ムラタセイサク君、セイコちゃんがやってくる!」取材記事

毎日新聞1月8日 展覧会紹介記事

朝日新聞1月11日 来場1万人達成記事

山陰中央新報1月11日 来場1万人達成記事

印刷物

展覧会図録「ロボットと美術—機械×身体のビジュアルイメージ」

内 容：図版 176点

執 筆：座談会 川西 由里、工藤 健志、村上 敬「ロボット」と「美術」をめぐる

コラム 井上 晴樹「成り出よ、科学と藝術の交流で」

テクノタク飯塚「未来への夢」の結晶・相澤ロボット 昭和の「ロボット博士」相澤次郎が遺したコードモたち

瀬名 秀明「ロボットの“いのち”をどのように展示する?」



会場

山本 寛「ロボットアニメは未来の夢を描けるのか」
 川西 由里「機械の女性たち——ロボットの性別をめぐって」
 工藤 健志「[ロボット]をめぐる断想」
 村上 敬「人間とロボットの間に「不気味の谷」はあるのだろうか？」

判 型：A4 160ページ
 編 集：高橋 賢
 デザイン：宗利淳一デザイン
 発 行：株式会社講談社
 展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4
 クイズブック：A5 8ページ ポストカード
 割 引 券：ポストカードサイズ(図録以外のデザイン：乗田菜々美)

関連事業

記念講演会「ロボットと日本のアニメーション」

講 師：山本寛(アニメーション演出家、監督)
 日 時：11月28日(日) 14:00～15:30
 会 場：講義室 聴 講 者：52名



講演会

グラントワ tea ガーデン「ティータイムやさん」

日 時：12月18日(土)11:00～
 会 場：美術館ロビー
 協 賛：カレルチャペック紅茶店 参 加 者：100名

クリスマス・ロボット工作教室

日 時：12月23日(木・祝)10:00～12:30、14:00～16:30
 会 場：講義室
 協 賛：株式会社タミヤ 参 加 者：22名

ムラタセイサク君、セイコちゃんがやってくる!

日 時：12月25日(土)13:00～13:45、15:00～15:45
 会 場：小ホール
 協 賛：株式会社出雲村田製作所 入 場 者：377名



ロボット工作教室

「ASIMO」ショー

日 時：1月8日(土)、9日(日)11:00～、14:00～、16:00
 会 場：大ホール
 主 催：島根県Honda Cars店 入 場 者：2,693名

日本のからくり人形展～江戸時代のロボット!?からくり人形がやってきた!

日 時：1月7日(金)～16日(日)
 会 場：多目的ギャラリー
 主 催：文化庁、島根県、財団法人島根県文化振興財団(いわみ芸術劇場)
 入 場 者：5,540名



ムラタセイサク君、セイコちゃんがやってくる!

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員
 日 時：11月20日(土)、12月19日(日)、12月26日(日)、1月10日(月)いずれも14:00～
 会 場：展示室D

「初音ミク」サンプラー CDプレゼント

期間中毎日先着39名に、出品作品の1つで「初音ミク」の歌を収録したCDを配布した。
 期 間：11月20日～26日 提 供：株式会社クリプトン・フューチャー・メディア

ムラタセイサクくんグッズプレゼント

期間中毎日先着100名に、出品作品の1つ「ムラタセイサク君」のグッズを配布した。
 期 間：12月25日、1月2日、3日 提 供：株式会社出雲村田製作所

企画展 島根県立美術館名品展 夕日につつまれる湖畔のミュージアムから



ポスター



開会式



安来節公演



特別ギャラリートーク

展覧会名：島根県立美術館名品展 夕日につつまれる湖畔のミュージアムから

会 期：平成23年2月9日(水)～3月21日(月)

前期：2月9日(水)～28日(月) 後期：3月2日(水)～21日(月・祝)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／500(400)円、大学生／300(240)円、高校生以下無料

*コレクション展料金を含みます。

* ()内は20名以上の団体料金。

*小中高生の学校利用は無料。

*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、財団法人島根県文化振興財団、BSS山陰放送

内 容

東西交流事業の一環として開催した。島根県立美術館所蔵の北斎、広重の浮世絵版画や、菱田春草、岡鹿之助、クールベ、デュフィなどの「水」をテーマにした絵画、河井寛次郎の作品など、日本画、洋画、西洋絵画、浮世絵、版画、工芸、写真といった幅広いジャンルの作品を展示。島根県立美術館のコレクションの魅力を紹介した。

まとまった数の島根県立美術館の作品を、県西部で初めて紹介する展覧会になった。小学生向けに「クイズブック」を作成し好評だった。小学校の劇場利用とも重なり、小学生の入館者の割合が多かった。また文化振興財団と協力し、安来節の公演を行った。開会式の後に行った美術館ロビーでの公演は、子供に好評で、複合施設の特徴を生かした事業だった。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報2月5日 グラントワ通信22 河野克彦「県立美術館名品展 多彩なジャンル一堂に」

山陰中央新報2月10日 開幕記事

中国新聞2月10日 安来節公演取材記事

中国新聞2月16日 開幕記事

朝日新聞2月27日 ワークショップ取材記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

クイズブック：径21cm半円型16ページ

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

特別ギャラリートーク

講 師：大森拓土(島根県立美術館主任学芸員)

日 時：2月12日(土) 11:00～、14:00～

会 場：展示室D

参 加 者：20名

安来節公演

島根県の東西交流事業のひとつとして開催した。

出 演：安来節家元 四代目渡部お糸一行(7名)

日 時：2月9日(水)13:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：200名

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員

日 時：2月20日(日)、3月6日(日)、20日(日) いずれも14:00～

会 場：展示室D

グラントワ tea ガーデン「黄昏茶」

日 時：3月19日(土)11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名



ワークショップ

ワークショップ「小さなあなから広がる世界 —ピンホールカメラでグラントワを写そう—」

最も基本的な仕組みで撮影できる「ピンホールカメラ」を作り、撮影、現像まで行った。

講 師：当館学芸員

日 時：2月26日(土)10:00～15:00

会 場：多目的ギャラリー

参 加 者：5名

特別展

展示室A 石見ゆかりの洋画

会 期：平成22年7月7日(水)～10月4日(月)

内 容：当館及び島根県立美術館の所品から、石見ゆかりの洋画を展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所
1	香月 泰男	鯉と犬	昭和25年(1950)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
2	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
3	喜多村 知	北国海辺	昭和48年(1973)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
4	斎藤 与里	医光寺	昭和32年(1957)	油彩・板	島根県立美術館
5	佐藤 一章	奉天城外	昭和4年(1929)	油彩・板	島根県立美術館
6	杉浦 非水	非水百花譜	大正9～11年(1920～22)	木版・紙	島根県立石見美術館
7	中尾 彰	ロシア婦人の顔	昭和7年(1932)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
8	中尾 彰	山湖	昭和33年(1958)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
9	中尾 彰	白い椅子	昭和54年(1979)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
10	中尾 彰	ハルピンの花売	昭和13年(1938)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
11	山中 徳次	かくれんぼ	昭和16年(1941)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
12	山中 徳次	魚市	昭和31年(1956)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
13	中島 宜矩	ストーブのある室内	昭和28年(1953)	油彩・板	島根県立美術館
14	中島 宜矩	港	平成5年(1993)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
15	山崎 修二	二人の少女	昭和6年(1931)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
16	山崎 修二	少女二人	昭和8年(1933)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
17	山崎 修二	夏	昭和11年(1936)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
18	山崎 修二	風景	昭和16年(1941)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
19	山崎 修二	山懐の早春	昭和28年(1953)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
20	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
21	山崎 修二	春窓	昭和28年(1953)	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
22	山崎 修二	緑の静物	昭和30年(1955)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室A 雲谷派 雪舟を継ぐ者たち

会 期：平成23年1月2日(日)～2月28日(月)

内 容：山口県立美術館と共同で調査した萬福寺・医光寺の雲谷派作品を中心に展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	楼閣山水図襖	江戸時代 17世紀	紙本墨画	萬福寺
2	雲谷派	楼閣山水図襖	江戸時代 17世紀	紙本墨画	萬福寺
3	雲谷派	山水図襖	江戸時代 18世紀	紙本墨画	萬福寺
4	雲谷派	山水図襖	江戸時代 18世紀	紙本墨画	萬福寺
5	雲谷派	山水図襖	江戸時代 18世紀	紙本墨画	萬福寺
6	雲谷派	仕女図襖	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩	萬福寺
7	雲谷派	芦雁図襖	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩	萬福寺
8	雲谷派	芦雁図襖	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩	萬福寺
9	雲谷 等与	鴛鴦図	江戸時代 17世紀	紙本墨画着色	萬福寺
10		鷹図杉戸	江戸時代 17世紀	杉板着色	萬福寺
11		雲龍図杉戸	江戸時代 17世紀	杉板着色	萬福寺
12		竹虎図杉戸	江戸時代 19世紀	杉板着色	萬福寺
13		鍾馗図杉戸	江戸時代 19世紀	杉板着色	萬福寺
14		山水図	室町時代 16世紀	紙本墨画淡彩	医光寺
15	永富 等穰	西湖金山寺図屏風	江戸時代 19世紀	紙本墨画	医光寺
16	長富 等逸	山水図押絵貼屏風	江戸時代 19世紀	紙本墨画	個人蔵

印刷物

展覧会チラシ：A4変形(デザイン：野村デザイン制作室)

図録：A4(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

講演会「雪舟から雲谷派まで」

講 師：荏開津彦彦(山口県立美術館 主任)



「雲谷派」チラシ

日 時：1月29日

会 場：講義室

聴 講 者：28名

新聞掲載

中国新聞 1月12日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 1月14日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 1月22日 グラントワ通信

毎日新聞 1月25日 展覧会紹介記事

展示室B 石見の根付 七田眞コレクションを中心に

会 期：平成22年4月28日(水)～7月19日(月・祝)

内 容：石見根付のコレクター・故七田眞氏によるコレクションに当館所蔵品も交え、石見根付を中心に展覧した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		蜘蛛	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
2	清陽堂(長崎)	竹山水図	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
3		葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
4	青陽堂富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市・七田眞コレクション
5		ねずみ二匹	18～19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
6	文章女	黒柿に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市・七田眞コレクション
7	文章女	蜘蛛と忍ぶ草	18～19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
8	文章女	百足	18～19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
9		唐辛子	18世紀	鯨の歯	江津市・七田眞コレクション
10	巖水	忍ぶ草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市・七田眞コレクション
11	巖水の銘有	猪牙に鹿二頭	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
12	銘有	あわびに蟹	18～19世紀	木	江津市・七田眞コレクション
13	吉	蟹	18世紀	木	江津市・七田眞コレクション
14	雲陽 直人	黒蟬	18世紀	水牛の角	江津市・七田眞コレクション
15	素龍	蜘蛛二匹	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
16	貫満	象牙に和歌	文政4年	象牙	江津市・七田眞コレクション
17	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市・七田眞コレクション
18	貫満	筍切株茄子鞘豆	19世紀	黒柿	江津市・七田眞コレクション
19	青牛軒	猪牙に蟹	19世紀(文化13年夏)	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
20	正吉(米子)	近江八景	19世紀(文化5年5月)	象牙	江津市・七田眞コレクション
21	松白龍	蓮葉に蛙	19世紀	木	江津市・七田眞コレクション
22	一州	田螺に蛙	18世紀末～19世紀初め	海松	江津市・七田眞コレクション
23	一正	あわびに蟹	19世紀初め	黒柿	江津市・七田眞コレクション
24	正信	群猿	19世紀中頃	黄楊	江津市・七田眞コレクション
25	小林 仙歩	竹に蟬	現代	象牙	江津市・七田眞コレクション
26	無銘	蟬に蜘蛛	幕末明治	黒檀または黒柿	江津市・七田眞コレクション
27	無銘	蓮葉に親子蝸牛	19世紀	鹿の角	江津市・七田眞コレクション
28	無銘	小野の小町図	18世紀～19世紀初め	象牙	江津市・七田眞コレクション
29	無銘	三茄子	19世紀初め	黒柿	江津市・七田眞コレクション
30	無銘	葉に茄子	19世紀前半	黒柿	江津市・七田眞コレクション
31	無銘	蛤にねずみ二匹	18世紀	象牙	江津市・七田眞コレクション
32	無銘	唐辛子に鼠	18世紀～19世紀初め	セイウチの牙	江津市・七田眞コレクション
33	龍深	竹林の七賢人	19世紀		江津市・七田眞コレクション
34	無銘	亀に狼	19世紀幕末	黄楊	江津市・七田眞コレクション
35	無銘	あわびに蟹	18世紀～19世紀初め	黒柿	江津市・七田眞コレクション
36	友重	貝づくし	19世紀	木	江津市・七田眞コレクション
37	正直	虎	19世紀中	黄楊	江津市・七田眞コレクション
38	回春堂富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
39	無銘	忍ぶ草に蜘蛛	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
40	無銘	葡萄に栗鼠	18世紀	鯨の歯	江津市・七田眞コレクション
41	勝任	松竹梅	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
42	無銘	堅田落雁(近江八景)	19世紀	猪の牙	江津市・七田眞コレクション
43	無銘(刻文有)	猪図	享和2年	鯨の歯	江津市・七田眞コレクション
44	晴民	蓮葉に赤蛙	19世紀	セイウチの牙	江津市・七田眞コレクション
45	無銘	蓮葉に蟹	18世紀	鯨の歯	江津市・七田眞コレクション
46	綿山 道人	蛙	19世紀	黄楊	江津市・七田眞コレクション

47	正美	葉に蝸牛	現代	黄楊	江津市・七田真コレクション
48	友正	狼と兎	19世紀	黄楊	江津市・七田真コレクション
49	無銘	貝づくし	18世紀	鯨の歯	江津市・七田真コレクション
50	正信	葉に蛙	19世紀	木	江津市・七田真コレクション
51	富永	和歌と南天	19世紀	象牙	江津市・七田真コレクション
52	若水	蟹気楼	18世紀～19世紀初	黒檀または黒柿	江津市・七田真コレクション
53	松風堂	和歌(橋渡り)	不明	象牙	江津市・七田真コレクション
54	光廣(尾道)	柿	19世紀	象牙	江津市・七田真コレクション
55	牧牛軒(長崎)	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市・七田真コレクション
56	可専	亀	18～19世紀	黒檀または黒柿	江津市・七田真コレクション
57	友親	巴瓦に犬	19世紀	象牙	江津市・七田真コレクション
58	友親か	蝉	18～19世紀	黒檀または黒柿	江津市・七田真コレクション
59	廣花堂	忍ぶ草に蜘蛛	19世紀	猪の牙	江津市・七田真コレクション
60	無銘	異国人物	18世紀	象牙	江津市・七田真コレクション
61	無銘	鮭	19世紀	桜・梅の木	江津市・七田真コレクション
62		蝦蟇仙人	18世紀	木	江津市・七田真コレクション
63	無銘	閑羽	18世紀	黄楊木	江津市・七田真コレクション
64	無銘	東方朔	18世紀終～19世紀初	黒柿	江津市・七田真コレクション
65	無銘	あわび	18世紀末	黒柿(鹿角象嵌)	江津市・七田真コレクション
66	巖水	雲	19世紀	竹	江津市・七田真コレクション
	無銘	むくげの花	19世紀	黄楊	江津市・七田真コレクション
67	無銘	猿	18世紀	海松	江津市・七田真コレクション
	得月亭臥農	落款彫	江戸	唐木	江津市・七田真コレクション
68	富春	鮑に蟹	1795年(寛政7)	象牙	島根県立石見美術館
69	俊暁	おろち	2007年(平成19年)	猪の牙	島根県立石見美術館
70	巖水	扇面草図	江戸時代	象牙	島根県立石見美術館
71	龍水	牛	江戸時代	黒檀	島根県立石見美術館
72	中村松間齋	猛禽図	江戸時代末期	高蒔絵	島根県立石見美術館
73	富春	蓮葉に菱亀	1792年(寛政4年)	鯨の歯	島根県立石見美術館
74	富永	蜘蛛	江戸時代後期	猪の牙	島根県立石見美術館
75	富春	亀	江戸時代後期	木	島根県立石見美術館
76	無銘	蜘蛛	江戸時代後期	猪の牙	島根県立石見美術館

印刷物

展覧会チラシ：107mm角蛇腹折り8ページ(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

講演会「石見根付と私」

講師：田中俊暁(彫刻家)
日時：5月9日(日)14:00～
会場：講義室
参加者：26名

講演会「根付の楽しみ方 石見根付を中心に」

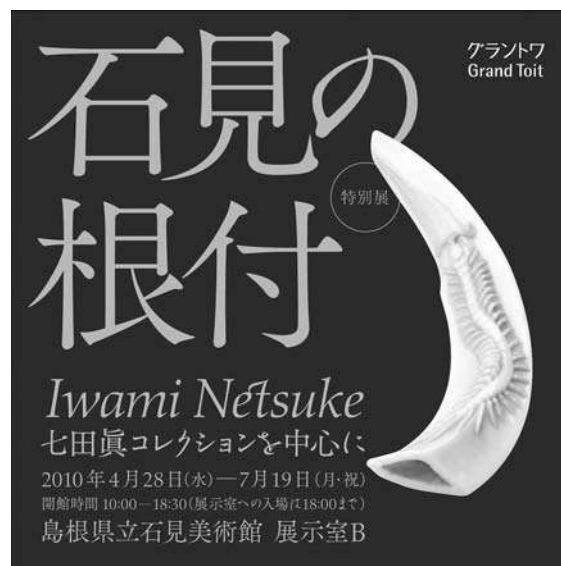
講師：吉田ゆかり(根付と提物の専門店 提物屋社長)
日時：5月23日(日)14:00～
会場：講義室
参加者：40名

根付にさわってみよう!

日時：6月5日、12日、7月3日、10日 各土曜日14:00～15:00
会場：美術館展示室B入口付近

新聞掲載

中国新聞 5月10日 展覧会紹介記事
山陰中央新報 6月19日 真住貴子 展覧会紹介



「石見の根付」チラシ

展示室B 神々が舞う 神楽衣装の美

会 期：平成22年9月8日(水)～11月8日(月)

内 容：開館5周年記念「神々のすがた 古事記と近代美術」に関連して、石見神楽の衣装・面などを展示。

出品リスト

No.	作品名	制作年	所蔵
1	鍾馗	現代	高津神楽社中
2	鬼	現代	高津神楽社中
3	恵比寿	現代	高津神楽社中
4	大黒	現代	高津神楽社中
5	須佐之男	現代	高津神楽社中
6	夏赤大王(五神のうち)	現代	高津神楽社中
7	山舞の藁蛇と山の俵	現代	抜月神楽団
8	映像 抜月神楽	現代	古代出雲歴史博物館
9	映像 三葛神楽	現代	古代出雲歴史博物館
10	映像 柳神楽	現代	古代出雲歴史博物館

新聞掲載

山陰中央新報 5月15日 展覧会紹介記事

展示室C 並河萬里写真展 神々の座 出雲

会 期：平成22年8月27日(金)～11月15日(月)

内 容：写真家並河萬里が晩年出雲地方に撮影拠点を構え、9年間かけて撮影した写真シリーズ「神々の座出雲」を紹介した。島根県の東西交流事業の一貫として、文化振興財団との共催で開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	撮影年	技法、材質	所蔵
1	並河 萬里	斐伊川	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
2		稲佐の浜	1955年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
3		出雲大社 御本殿	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
4		美保神社 大注連縄	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
5		美保神社 雪景	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
6		美保神社 青柴垣神事	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
7		シャギリ I	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
8		西村神社 西村神楽	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
9		島前神楽 国賀にて	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
10		仮面	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
11		日御碕神社 楼門	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
12		日御碕神社 夕景	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
13		日御碕神社 神の宮宝庫	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
14		熊野大社	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
15		神魂神社	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
16		北島国造家 四脚門	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
17		北島国造家 拝殿	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
18		八重垣神社 夜景	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
19		持田神社 亀尾神能	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
20		持田神社 亀尾神能	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
21		持田神社 亀尾神能	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
22		佐太神社 佐陀神能	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
23		佐太神社 佐陀神能	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
24		出雲大社 神迎え神事	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
25		須我神社 神楽四社中	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
26		能面と炎	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
27		出雲大社 神迎え神事	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
28		日御碕神社 大祭	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
29		須我神社 例大祭前夜祭	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
30		須我神社 鹿食神事	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
31		佐太神社 御座替神事	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
32		万九千神社 神等去出神事	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
33		峯寺 火祭り	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
34		宍道湖	1958年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室

No.	作家名	作品名	撮影年	技法、材質	所蔵
35	並河 萬里	宍道湖 雲	1995年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
36		出雲大社 拝殿 夜景	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
37		出雲大社 神楽殿	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
38		出雲大社 神楽殿 注連縄	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
39		多気神社 とんどさん	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
40		日刀保たたら火入れ	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
41		清水寺 木造阿彌陀如来坐像	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
42		清泰寺 木造文殊菩薩立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
43		清泰寺 木造阿彌陀如来立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
44		心覚院 木造阿彌陀如来立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
45		心覚院 木造観音菩薩立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
46		大喜庵 木造聖観音菩薩立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
47		妙岩寺 木造齒吹阿彌陀如来立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
48		萬福寺 木造四天王立像 持国天	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
49		浄音寺 木造十一面観音立像	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
50		出雲の至宝	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
51		森山神社 ハンボカベリ神事	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		千酌 とんどさん	1993年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		千酌 とんどさん	1995年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		伊奈頭美神社	1993年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		小さなほころ	1992年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
52		大敷網	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		阿井八幡宮 押輿神事	1995年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		須佐神社 切明神事(踊り念仏)	1995年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		佐志武神社 例祭	1995年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		佐志武神社 例祭	1995年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		牛供養花田植	1992年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		森山神社 ハンボカベリ神事	1993年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
53		寿福寺 堂餅行事奉散会	1995年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		餅つき	1993年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		あらめ漁 鷺浦	1991年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		注連縄掛け替え	1993年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		注連縄掛け替え	1993年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		茅葺き屋根のふきかえ	1994年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		茅葺き屋根のふきかえ	1994年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		美保神社	1991年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
54		たたら火入れ	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
		七夕祭り	1992年		財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
55		萬福寺 木造日光菩薩像	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
56		仏谷寺 木造薬師如来坐像	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
57		美保神社 本殿	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
58		美保神社 神門	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
59		美保神社 諸手船神事	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
60		シャギリ II	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
61		仮面	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
62		風土神社 原田神楽	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
63		宍道湖	1995年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
64		嫁が島 夕景	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
65		築地松	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
66		築地松 雪景	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
67	三又の収穫	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
68	チェリーロード	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
69	船林神社への道	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
70	須賀神社 ぎおんさん	1993年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
71	福蠟燭	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
72	ホーランエンヤ 渡御祭	1997年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
73	ホーランエンヤ 中日祭	1997年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
74	ホーランエンヤ 渡御祭	1997年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
75	玖潭神社 お田植え神事	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
76	厳冬の十六島鼻(うつぶるい)	1984年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館	
77	十六島 岩海苔漁	1995年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
78	柏島	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
79	権現祭 鷺浦	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
79	権現祭 鷺浦	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	

No.	作家名	作品名	撮影年	技法、材質	所蔵
80	並河 萬里	一本釣の漁船 鷺浦	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
81		隠岐島前	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
82		精霊船(シャラぶね)	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
83		鷺浦 町並み 瓦屋根	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
84		鷺浦 町並み	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
85		伊奈西波岐神社	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
86		伊奈西波岐神社の松	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
87		岩倉乳房杉	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
88		山祭り	1994年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
89		風土神社 原田神楽	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
90		風土神社 原田神楽	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
91		若宮神社 獅子舞	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
92		若宮神社 獅子舞	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
93		出雲大社 御本殿	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室
94	出雲大社 拝殿	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
95	シャギリ II	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
96	繋行列	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
97	埴田神社 青獅子舞	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
98	鶺ノ鼻古墳群	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
99	多伎芸神社 例祭 田植ばやし	1995年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
100	大蔵神社 獅子舞	1992年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
101	美保神社 青柴垣神事	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	
102	美保神社 雪景	1991年	デジタル・ゼラチン・シルヴァー・プリント	財団法人島根県文化振興財団写真文化事業室	

印刷物

展覧会チラシ：A 4

展覧会ポスター：B 2

関連事業

ギャラリートーク

講 師：生田司子(島根県文化振興財団写真文化事業室)

日 時：8月28日(土)、10月9日(土)各日14:00～

会 場：展示室C

新聞掲載

山陰中央新報 8月14日 真住貴子 展覧会紹介

中国新聞 9月 9日 展覧会紹介記事

読売新聞 9月10日 展覧会紹介記事

毎日新聞 9月30日 展覧会紹介記事

コレクション展

展示室A 森鷗外と交友の画家たち

会 期：平成22年4月21日(水)～7月5日(月)

内 容：所蔵品より、石見出身の森鷗外と交友のあった画家の作品を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
2	原田 直次郎	男児図	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	黒田 清輝	裸体	1889年	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
5	黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
6	ガブリエル・フォン・マックス	チロル、カルテルンの故テレーゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤田 嗣治	サーカスの人気者	1939年	油彩・カンヴァス	島根県立美術館
9	川村 清雄	緑蔭牧牛図	不詳	油彩・絹本	島根県立石見美術館
10	満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
11	満谷 国四郎	風景	1910～20年代頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
12	木下 柰太郎	助六	不詳	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
13	長原 孝太郎	風景	1921年	油彩・板	島根県立石見美術館
14	中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
15	中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	野の道	1894～1897頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	宿場	1904年頃	水彩・紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911頃	水彩・紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆・紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	麻布二之橋	1892～94年頃	水彩・紙	島根県立石見美術館
21	和田 英作	風景	1914年	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
22	宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
23	宮 芳平	自画像	1920年	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
24	横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画	島根県立石見美術館
25	五百城 文哉	富士図	1893～1906頃	水彩・紙	島根県立石見美術館
26	森鷗外作、原田 直次郎 挿画	『新著百種』第12号(森鷗外「文つかひ」掲載)	1891年	冊子	島根県立石見美術館
27	森鷗外作、長原 孝太郎 装丁	『玉匣両浦島』	1902年	冊子	島根県立石見美術館
28	森鷗外訳、藤島 武二 装丁	『寂しき人々』	1911年	冊子	島根県立石見美術館
29	森鷗外訳、藤島 武二 装丁	翻訳小説集『蛙』	1919年	冊子	島根県立石見美術館
30	森鷗外訳、中村 不折 装丁	翻訳戯曲集『人の一生 飛行機』	1911年	冊子	島根県立石見美術館
31	森鷗外作、長原 孝太郎 装丁	『謎』	1914年	冊子	島根県立石見美術館
32	森鷗外作、橋口 五葉 装丁	『塵泥』	1915年	冊子	島根県立石見美術館
33	森鷗外訳、和田 英作 挿画	『ギョッツ』	1916年	冊子	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 4月24日 展覧会紹介記事

展示室A 開館5周年記念 5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!

会 期：平成22年10月8日(金)～12月26日(日)

内 容：開館5周年を記念し、当館の5名の学芸員がそれぞれ5点ずつ好きな作品を選び、コメントを付して展示をした。専門分野にこだわらない作品選定によりバラエティーに富んだ作品が展示され、親しみやすいコメントも好評だった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	静物	1920年(大正9)	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	藤島 武二	西洋婦人像	1908-09年頃(明治41-42)	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
3	香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年(昭和48)	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
4	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
5	藤田 嗣治	青いドレスの女	1939年(昭和14)	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
6	川村 清雄	緑陰牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	猪苗代	1907年(明治40)	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	軍艦金剛にて	1998年(明治31)	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	榎本 千花俊	池畔春興	1932年(昭和7)	絹本着色	島根県立石見美術館
10	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァープリント	島根県立石見美術館
11	セシル・ビートン	メアリー・テイラー	1935年	ゼラチン・シルヴァープリント	島根県立石見美術館
12	アンドレ・マルティ	『今日の流行とおしゃれ』より 「仮装舞踏会」	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) 「バルドーとしての私 2」	1996年(平成8)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920-22年頃	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	テキスタイル「アラム」	1919年	麻布にプリント	島根県立石見美術館
16	リバティ	コート	1908年頃	ブルーグレーのクレープ、茶がかつたグレーの絹シフォンでトリミング、襟に中国風刺繍	島根県立石見美術館
17	ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピースドレス、ボディスとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍	島根県立石見美術館
18	ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピースドレス、袖に白いフェルト地のアップリケワーク、バイアスカット	島根県立石見美術館
19	エルザ・スキャパレリ	イブニング・ドレス 「サーカス・コレクション」	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施したシフォンのワンピースドレス	島根県立石見美術館
20	竹内 栖鳳	藤花薔花群犬図屏風	1898年(明治31)	紙本着色、六曲一双屏風	島根県立石見美術館
21	西 晴雲	四季花木図	大正末期頃	紙本着色、四幅対	島根県立石見美術館
22	平福 百穂	鴨・七面鳥	1914年(大正3)	紙本着色、双幅	島根県立石見美術館
23	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年(大正8)	絹本着色、六曲一双屏風	島根県立石見美術館
24	作者不詳	舞踊図屏風	江戸時代前期	紙本金地着色、二曲一隻屏風	島根県立石見美術館
25	作者不詳	遊楽美人図	寛永年間	紙本着色、双幅	島根県立石見美術館

新聞掲載

- 読売新聞 12月2日 展覧会紹介記事
 中国新聞 12月5日 関連事業「名画をいろいろ話芸と音楽」記事
 朝日新聞 12月5日 関連事業「名画をいろいろ話芸と音楽」記事
 毎日新聞 12月8日 関連事業「名画をいろいろ話芸と音楽」記事

関連事業

活弁と生演奏のギャラリートーク「名画をいろいろ話芸と音楽vol.2」

出 演：坂本頼光(活動写真弁士)、鈴木広志(サクソフォン)、小林武文(打楽器)、大口俊輔(ピアノ)

日 時：平成22年12月4日(日)14:30～15:30

※詳細は「教育普及活動」(28ページ)に記載

展示室A 素描・水彩・版画の世界

会 期：平成23年3月2日(水)～4月4日(月)

内 容：所蔵品から素描・水彩・版画の作品を選び、それぞれの技法の違いに注目した展覧会

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ピエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
2	アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
5	ジャン＝エミール・ラブレール	ピュット・ショーモン公園風景	1921年	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
6	ジャン＝エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
7	石井 柏亭	木場	1914年	多色木版、紙	島根県立石見美術館
8	織田 一磨	石見有福温泉	1925年	多色木版、紙	島根県立石見美術館
9	平塚 運一	牡丹	1927年	木口木版・紙	島根県立美術館
10	平塚 運一	机上小禽	1928年	木口木版・紙	島根県立美術館
11	平塚 運一	手鏡	1933年	木版、紙	島根県立美術館
12	平塚 運一	臼杵石仏	1940年	木版、紙	島根県立美術館
13	平塚 運一	小泉八雲旧居 松江	1948年	木版、紙	島根県立美術館
14	平塚 運一	石州有福温泉	1953年	木版、紙	島根県立美術館
15	平塚 運一	十五夜	1957年	木版、紙	島根県立美術館
16	平塚 運一	夏雲 浅間山	1960年	木版、紙	島根県立美術館
17	平塚 運一	白い飛石 桂離宮	1968年	木版、紙	島根県立美術館
18	平塚 運一	唐の石仏菩薩 ワシントン・フリーア美術館	1970年	木版、紙	島根県立美術館
19	永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
20	永瀬 義郎	祈り	1956年	木版・紙(紺紙金刷)	島根県立石見美術館
21	永瀬 義郎	画家	1963年	多色木版、紙	島根県立石見美術館
22	岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	島根県立石見美術館
23	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	多色木版、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	朝鮮風景スケッチ (三宅克己作品の模写)	明治30年	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
30	三宅 克己	オランダ	不詳	コンテ、紙	島根県立石見美術館
31	中尾 彰	青野山初夏	不詳	水彩、紙	個人蔵
32	中尾 彰	美しき津和野 原画〈笛〉	1974年頃	水彩、紙	個人蔵
33	中尾 彰	美しき津和野 原画〈野すみれ〉	1974年頃	水彩、紙	個人蔵
34	後藤 工志	風景	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
35	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン〈アポロンの馬〉	不詳	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
36	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン〈菊〉	不詳	グアッシュ、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 3月29日 展覧会紹介記事

展示室B 昼の服／夜の服

会 期：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)

内 容：私たちが服に期待する役割は、昼と夜とで大きく異なる。役割によって、服がどのように形を変えるか、12点の所蔵品を通じて考える試み。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジャン＝フィリップ・ウォルト	ボールガウン	1897	金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディスとスカートの前部に稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。	島根県立石見美術館
2	マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。	島根県立石見美術館
3	アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。	島根県立石見美術館
4	レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。	島根県立石見美術館
5	チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。	島根県立石見美術館
6	森 英恵	イブニング・ドレス（ネイビーブルー）	1960年代後半～1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
7		女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラーカラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。	島根県立石見美術館
8		水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。	島根県立石見美術館
9	エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。	島根県立石見美術館
10		海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンゴム製の。銀色にペイントされた羽根模様。	島根県立石見美術館
11	ステーン・ブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。	島根県立石見美術館
12	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダードレス。	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 7月23日 展覧会紹介記事

毎日新聞 8月17日 展覧会紹介記事

展示室B クリストバル・バレンシアガ

会 期：平成22年11月11日(木)～平成23年1月30日(日)

内 容：1895年スペインに生まれたファッションデザイナークリストバル・バレンシアガ。布地の裁断、縫製の確かな技術と、布地や糸に関する豊富な知識を活かした彼の服作りは、身体の上で完璧な形を作り上げながら、軽く着心地の良い点で定評があった。本展は、当館所蔵のバレンシアガ作品7点を一堂に展覧する初めての企画。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950-51	濃い青の絹タフタのカクテルドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。	島根県立石見美術館
2		カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。	島根県立石見美術館
3		ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホースヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。	島根県立石見美術館
4		ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのシース(鞘型)・ドレス。	島根県立石見美術館
5		コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコートドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。	島根県立石見美術館
6		カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティレースの「ベビー・ドール・ドレス」。黒の絹のスリッパドレス。	島根県立石見美術館
7		カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピースドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 5月15日 展覧会紹介記事

展示室B ウィーンファッションと工芸

会 期：平成23年2月3日(木)～4月18日(月)

内 容：20世紀初め、革命の時代にあったロシア。この時期のロシア・アヴァンギャルドの斬新なテキスタイル・デザインを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ダゴベルト・ベッヒエ	テキスタイル「ウンダーバウム」	1911～16年	絹にプリント	島根県立石見美術館
2	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年	陶器	島根県立石見美術館
3	ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	島根県立石見美術館
4	ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ	島根県立石見美術館
5	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	島根県立石見美術館
6	ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン テキスタイル「レインボー」	1919年頃	色を濃淡にぼかした縞模様プリント	島根県立石見美術館
7	ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919/20年	絹	島根県立石見美術館
8	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1920～21年	銀	島根県立石見美術館
9	ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女		彩色・版画、紙	島根県立石見美術館
10	マリア・リカルツ	無題	1916年	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	マリア・リカルツ	無題	1916年	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ	島根県立石見美術館
13	マックス・スニシェク	ドレス テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口	島根県立石見美術館
14	マックス・スニシェク	ドレス テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁	島根県立石見美術館
15	マックス・スニシェク	ドレス テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	濃い青で縁取られたウエストまで届くV字の襟、袖も青の絹で縁取り	島根県立石見美術館
16	フェリス・リックス＝ウエノ	テキスタイル「クレムリン」	1929年	絹にプリント	島根県立石見美術館
17		モード・ウィーン1914/15(全12点)	1914/15年	木版・一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
18	ウィーン工房	婦人の生活(全20点)	1916年	ポर्टフォリオ、手彩色木版	島根県立石見美術館
19		プレスレット	1930年頃	銀	島根県立石見美術館

展示室C クリスチャン・ディオールとイヴ・サンローラン

会 期：平成22年4月22日(木)～6月21日(月)

内 容：戦後、女性のファッションにエレガンスを復権させたクリスチャン・ディオールと、彼に19歳でその才能を見いだされたイヴ・サンローラン。1957年ディオール急逝の際、サンローランはそのメゾンを引き継ぎ、その後のファッション界をリードする存在となっていた。本展はファッション界の巨匠二人の仕事と交流を、初公開作品3点を含む11点の所蔵作品で振り返る試み。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954	アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
2	クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風の形をした飾り。共布のストールと靴。	島根県立石見美術館
3	クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。	島根県立石見美術館
4	クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォン。裏地はピンクの絹オガンザ。パフスリーブ、後ろ身頃にくるみ釦。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンからなるコルセットが縫いつけられている。巻きスカート、シース型のアンダースカート付き。	島根県立石見美術館
5	クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグランスリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。	島根県立石見美術館
6	クリスチャン・ディオール	カクテルドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。七分丈のラグランスリーブ。	島根県立石見美術館
7	クリスチャン・ディオール／イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン。七分丈のラグランスリーブ。幅広の帯風のベルト。	島根県立石見美術館
8	クリスチャン・ディオール／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹、裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ、左右が不均等なボレロ風ジャケット。	島根県立石見美術館
9	イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967-68年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のスパンコール飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
10	イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス 「Musique de Nuit」	1956年	ダークグレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグランスリーブス、トラペーズラインのスカート。	島根県立石見美術館
11	イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。	島根県立石見美術館

印刷物

展覧会チラシ：107mm角蛇腹折り8ページ(デザイン：野村デザイン制作室)

新聞掲載

山陰中央新報 5月22日 廣田理紗 展覧会紹介
読売新聞 5月22日 展覧会紹介記事



「クリスチャン・ディオールとイヴ・サンローラン」チラシ

展示室C ロシア・アヴァンギャルドのデザイン

会 期：平成22年6月23日(水)～8月22日(日)

内 容：オーストリアの首都ウィーンで、20世紀初めに起こった近代芸術運動。これを牽引したウィーン工房のファッションと工芸を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-1	1930年	紙	島根県立石見美術館
2		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-2	1929年	紙	島根県立石見美術館
3		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-3	1930年	紙	島根県立石見美術館
4		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-4	1930年	紙	島根県立石見美術館
5		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
6		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-7	1930年	紙	島根県立石見美術館
7		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-8	1930年	紙	島根県立石見美術館
8		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-9	1930年	紙	島根県立石見美術館
9		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-10	1930年	紙	島根県立石見美術館
10		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-11	1929年	紙	島根県立石見美術館
11		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-1	1928年	紙	島根県立石見美術館
12		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-2		紙	島根県立石見美術館
13		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-3		紙	島根県立石見美術館
14		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-4	1928年	紙	島根県立石見美術館
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-5		紙	島根県立石見美術館
16		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
17		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-7	1929年	紙	島根県立石見美術館
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-8		紙	島根県立石見美術館
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-9		紙	島根県立石見美術館
20		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-10	1927年	紙	島根県立石見美術館
21		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-11	1928年	紙	島根県立石見美術館
22		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-12	1927年	紙	島根県立石見美術館
23		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-13	1927年	紙	島根県立石見美術館
24		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-14	1928年	紙	島根県立石見美術館
25		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-15	1927年	紙	島根県立石見美術館
26		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-17	1927年	紙	島根県立石見美術館
27		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-18	1926年	紙	島根県立石見美術館
28		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-19	1926年	紙	島根県立石見美術館
29		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-20		紙	島根県立石見美術館
30		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-21		紙	島根県立石見美術館
31		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-22	1927年	紙	島根県立石見美術館
32		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-23		紙	島根県立石見美術館
33		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-24	1928年	紙	島根県立石見美術館
34		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-25	1930年	紙	島根県立石見美術館
35		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-26	1928年	紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
36		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-1		紙	島根県立石見美術館
37		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-2		紙	島根県立石見美術館
38		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-3		紙	島根県立石見美術館
39		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-4	1922年	紙	島根県立石見美術館
40		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-5		紙	島根県立石見美術館
41		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-6		紙	島根県立石見美術館
42		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-7	1922年	紙	島根県立石見美術館
43		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-8	1922年	紙	島根県立石見美術館
44	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-9		紙	島根県立石見美術館
45	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-10		紙	島根県立石見美術館
46		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-11	1927年	紙	島根県立石見美術館
47		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-12		紙	島根県立石見美術館
48	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-13		紙	島根県立石見美術館
49	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-15		紙	島根県立石見美術館
50		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-17		紙	島根県立石見美術館
51		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-18		紙	島根県立石見美術館
52	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-19		紙	島根県立石見美術館
53	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-22		紙	島根県立石見美術館
54	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-23		紙	島根県立石見美術館
55	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-24		紙	島根県立石見美術館
56		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-25	1931年	紙	島根県立石見美術館
57		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-27		紙	島根県立石見美術館
58		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-28	1929年	紙	島根県立石見美術館
59		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-29	1930年	紙	島根県立石見美術館
60		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-31	1930年	紙	島根県立石見美術館
61	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-37	1931年	紙	島根県立石見美術館
62		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-1	1927～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
63	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-2	1920～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
64	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
65		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-4		綿、プリント	島根県立石見美術館
66		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-5	1930～35年	綿、プリント	島根県立石見美術館
67	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-6	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
68	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-7	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
69		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-8		綿、プリント	島根県立石見美術館
70	フェドル・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-9		シルク、プリント	島根県立石見美術館
71	フェドル・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-10		綿、プリント	島根県立石見美術館
72	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-11		綿、プリント	島根県立石見美術館
73	D.N.ブレオプラゼンスカヤ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-12	1932年	綿、プリント	島根県立石見美術館
74		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-13	1927～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
75	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル8-1	1929～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館

展示室C 肩で着る服／腰で着る服

会 期：平成22年1月14日(金)～3月28日(月)

内 容：「肩」と「腰」は、ともに人体の動きの「かなめ」となる場所であり、それゆえにデザインのポイントともなってきた。本展では時代の変遷とともに「肩」と「腰」がどのように扱われ、変化してきたかに注目し、20世紀ファッションの流行の変遷をたどる試み。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディスとスカートの前面に稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。	島根県立石見美術館
2		女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンのウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。	島根県立石見美術館
3	マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンピース。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワークされている。	島根県立石見美術館
4	ポール・ボワレ	ディ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。	島根県立石見美術館
5	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフ。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。ストールは黒いチュール。	島根県立石見美術館
7	ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。	島根県立石見美術館
8	クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。	島根県立石見美術館
9	ニナ・リッチ	ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュールネットの下着付き。	島根県立石見美術館
10	ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホース・ヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。	島根県立石見美術館
11	クリスチャン・ディオール ／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレ口風ジャケット。	島根県立石見美術館
12	アンドレ・クレージュ	ドレス、ブーツ	1960年代後半～ 1970年	オレンジ色のビニール。スタンドカラー。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルロゴ・マーク、ヒップ・ボーンミニ・スカート。銀色の革製のブーツ。	島根県立石見美術館
13	アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。	島根県立石見美術館
14	ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドのはいたバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。	島根県立石見美術館
15	ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス 「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 1月15日 展覧会紹介記事

毎日新聞 1月27日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 2月19日 廣田理紗 展覧会紹介

(財)独立書人団島根県支部 第32回 益田ブロック書展

会 期：平成22年6月17日(木)～6月21日(月)
会 場：展示室D

2010文化を育むinますだ 第29回益田市美術展

会 期：平成22年6月24日(木)～27日(日)
会 場：展示室D

第42回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成23年1月20日(木)～1月23日(日)
会 場：展示室D

全島根図画作品展

益田・鹿足展

会 期：平成23年1月27日(木)～1月31日(月)
会 場：展示室D



名画をいろいろどる話芸と音楽 チラシ



名画をいろいろどる話芸と音楽

【活弁と生演奏のギャラリートーク】

「名画をいろいろどる話芸と音楽vol.2」

活動弁士と音楽家によるギャラリートークの第2弾。コレクション展「開館5周年記念 5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!」の出品作品から、当館の5名の学芸員がそれぞれ1点ずつ5作品を選び、活動弁士と3名の音楽家にパフォーマンスを依頼した。当日は展示室の中で作品を前に活動弁士が説明をし、音楽家が作品にあわせて作曲した曲を演奏した。

日時：平成22年12月4日(日)14:30開演

出演：坂本頼光(活動写真弁士)、鈴木広志(サクソフォン)、小林武文(打楽器)、大口俊輔(ピアノ)

来場者：55名

会場：展示室A

印刷物：チラシ A4二つ折り(デザイン：グラフィック・グループ・トゥエルヴ)

【子ども記者受け入れ】

月に一度、学芸員が益田市内の小学生による「子ども記者」の取材を受け、質問に答えながら一緒に展覧会を見る企画。益田市の広報誌『広報ますだ』(月二回発行)において連載した。

- | | |
|-------------|----------------------------------------------|
| 平成22年4月15日号 | コレクション展「ダイアン・アールとファッション」
子ども記者：真砂小学校 |
| 5月15日号 | 企画展「花とともに」 子ども記者：吉田小学校 |
| 7月15日号 | コレクション展「ロシア・アヴァンギャルドのデザイン」
子ども記者：鎌手小学校 |
| 8月15日号 | 企画展「本池秀夫 革の世界」 子ども記者：戸田小学校 |
| 9月15日号 | 特別展「石見ゆかりの洋画」 子ども記者：都茂小学校 |
| 10月15日号 | 企画展「神々のすがた」 子ども記者：匹見小学校 |
| 11月15日号 | コレクション展「5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!」
子ども記者：美濃小学校 |
| 12月15日号 | 企画展「ロボットと美術」 子ども記者：真砂小学校 |
| 平成23年2月15日号 | 特別展「雲谷派一雪舟を継ぐ者たち」
子ども記者：益田小学校 |
| 3月15日号 | 企画展「島根県立美術館名品展」 子ども記者：中西小学校 |

【博物館実習】

日時：平成22年8月2日(月)～8月6日(金)

参加者：高知大学(1名)

【出前講座】

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は4回実施した。

「対話型鑑賞について」

日時：平成22年6月2日(水)

講師：真住 貴子

参加者：益田市立匹見小学校5,6年生(19名)、益田市立道川小学校6年生(1名)

会場：益田市立匹見小学校

「水墨画体験ワークショップ」

日時：平成22年10月24日(日)

講師：川西 由里

参加者：益田市立安田小学校6年生(35名)

会場：益田市立安田小学校

「根付にさわろう」

日時：平成23年3月2日(水)

講師：真住 貴子、廣田 理紗

参加者：益田市立西益田小学校4年生(29名)

会場：益田市立西益田小学校



根付にさわろう

「根付にさわろう」

日 時：平成23年3月15日(火)
 講 師：川西 由里、廣田 理紗
 参 加 者：益田市立西益田小学校 特別支援学級(6名)
 会 場：益田市立西益田小学校

【館外での講座・講演など】

奥出雲町発足5周年記念公演「おろち神話と地域づくり」

日 時：平成22年5月15日(土)
 講 師：澄川 喜一(当館館長)
 会 場：カルチャープラザ仁多

島根大学医学部 講演会

日 時：平成22年6月24日(木)
 講 師：澄川 喜一
 会 場：島根大学医学部

島根県立大学総合政策学会 特別講演会

日 時：平成22年6月29日(火)
 講 師：澄川 喜一
 会 場：島根県立大学

「日本の仏像」

日 時：平成22年7月13日(火) 13:00～15:00
 講 師：椋木 賢治
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(15名)
 会 場：いわみへる

「日本の仏像」

日 時：平成22年9月10日(金) 10:00～12:00
 講 師：椋木 賢治
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(15名)
 会 場：いわみへる

島根県立大学開学10周年記念フォーラム

パネルディスカッション「石見の地域特性と大学—可能性と展望—」
 日 時：平成22年10月15日(金)
 パネリスト：澄川 喜一 ほか
 会 場：島根県立大学

中国地区民放懇話会 講演会

日 時：平成22年11月11日(木)
 講 師：澄川 喜一
 会 場：玉造温泉「長楽園」

島根政経懇話会 講演「グラントワと地域文化の振興」

日 時：平成22年11月18日(木)
 講 師：澄川 喜一
 会 場：ホテル一畑

近畿島根経済クラブ 講演会

日 時：平成23年1月14日(金)
 講 師：澄川 喜一
 会 場：大阪リーガロイヤルホテル

「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成23年2月15日(火) 13:00～15:00
講 師：川西 由里
参 加 者：シマネスクくびぎ学園西部校2年生(15名)
会 場：いわみへる

第18回しまね景観賞 基調講演

日 時：平成23年3月3日(木)
講 師：澄川 喜一
会 場：サンラポーむらくも

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうち美術館ボランティアには「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」があり、それぞれ7名のボランティアが登録、活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展、特別展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

4月21日～7月5日	コレクション展「森鷗外と交友の画家たち」
4月28日～7月19日	特別展「石見の根付」
7月7日～10月4日	特別展「石見ゆかりの洋画」
7月21日～9月5日	コレクション展「昼の服・夜の服」
10月8日～12月26日	コレクション展「5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

活動記録

5月16日	オープンスタジオ「かんたん!かわいい!バラのブローチをつくろう」
12月23日	ワークショップ「クリスマス・ロボット工作教室」
2月26日	ワークショップ「小さなあなから広がる世界—ピンホールカメラでグラントワを写そう」

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、萩博物館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上6館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設（4施設）

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館（コレクション展・企画展）、浜田市立石正美術館、浜田市世界こども美術館（館主催の展示のみ）

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設（5施設）

島根県立石見美術館（コレクション展のみ）、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売（使用開始）の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券（半券）

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券（半券）

⑧ 島根県立いわみ芸術劇場で開催される催し物（当日のみ有効）の有料入場券（半券）

⑨ 提携館が発行する年間パスポート（期限内）

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード（島根県広島事務所）・しまね子育て応援パスポート（島根県少子化対策推進室）・ちゅーピーくらぶ（株式会社中国新聞社）・ドゥブレ（財団法人広島勤労者職業福祉センター）・とっとり子育て応援パスポート（鳥取県子育て支援総室）・やわらぎカード（株式会社オーエムシーカード）・ゆめカード（株式会社ゆめカード）・JAカード（三菱UFJニコス株式会社）・JAF（社団法人日本自動車連盟）・SDカード（自動車安全運転センター）

所蔵作品一覽

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷 派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鎌木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳鳩	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗文	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鶯鶯図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショー・ウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ・角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ・角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	祈り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレグ ル、リックス他)	『女性の生活』(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラ ブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラ ブレール	ビュット・ショーモン公園 風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルバ ーブ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロ ーネー	『絵画・オブジェ・同 時的 テキストスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
ポール・イリーブ	『ポール・ボフレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュルドウイ』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	ポピー	1903～1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903～1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903～1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903～1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903～1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファープリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	デイトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バ ザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・ブロコウ 『ハーバース・バザー』 1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暲	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙刻	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(刻彫)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F. R. P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	カフタン、ドレス	1960年代後半~ 1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1960年代後半~ 1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イヴニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965~1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半~ 1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967~1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボディは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のバイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「Musique de Nuit」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イヴニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボディ。皮のスカート。スカートは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラットフォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。

作家名	作品名	制作年	材質
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドのはいったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラットフォーム・フォーム・シューズ。
エルザ・スカンパレリ	イヴニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカンパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカンパレリ	イヴニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーブ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドールドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。

作家名	作品名	制作年	材質
バーバラ・フラニッキー ／ピバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのアペアー・パンツ。
バーバラ・フラニッキー ／ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット。
パコ・ラバヌ	イヴニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ピバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのアペアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ボワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン・シフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン・絹シフォン。
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花卉の形をアププリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス「ブリトヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き。
マックス・スニシュク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシュク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシュク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンピース。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンブーシェ	イヴニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーブ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン・ウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターン・ウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。

作家名	作品名	制作年	材質
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様ที่交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン・ウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジヨッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イヴニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン・ゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒエ	「ヴァンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポータ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

新収蔵作品一覧

寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	油彩画	中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩・カンヴァス・額装	72.9×91.0
2	油彩画	中尾 彰	山麓	1955年	油彩・カンヴァス・額装	73.0×116.5

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「日本近代洋画選1 風景画を中心に」展 島根県立美術館 平成22年4月21日～7月12日	藤田嗣治《アントワープ港の眺め》
「ロボットと美術—機械×身体のビジュアルイメージ」展 青山県立美術館 平成22年7月10日～8月29日 静岡県立美術館 平成22年9月18日～11月7日 島根県立石見美術館 平成22年11月20日～平成23年1月10日	東郷青児《婦人像》 ソニア・ドローネ『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 2点 《ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイルデザイン》 9点 カレル・チャペック著、鈴木善太郎訳『ロボット』 村山知義著『人間機械』 相澤次郎著『世界優秀人造人間と電気サインの設計と作り方』 『MARIONNETTE』
「神々のすがた ～古代から水木しげるまで～」展 島根県立古代出雲歴史博物館 平成22年10月8日～11月28日	近衛信尹《渡唐天神図》
「石見美術館コレクション 森鷗外と交友の画家たち」展 島根県立美術館 平成22年12月16日～平成23年3月14日	黒田清輝《ポプラの黄葉》 原田直次郎《男児像》 中村不折《裸体》 大下藤次郎《野の道》 和田英作《風景》 岡田三郎助《黒き帯》 宮芳平《自画像》 ガブリエル・フォン・マックス《煙を出す壺を抱く女性》 『新著百種』第12号 原田直次郎の表紙と挿画(写真2点) 森鷗外『青年』橋口五葉装丁
「八雲立つ…～美術に見る雲の表現～—島根県立美術館コレクションを中心に—」展 島根県立美術館 平成23年1月2日～2月14日	絵師不詳《人麿図屏風》 絵師不詳《遊女柳橋扇面流図屏風》 菊池華秋《雪晴》 石井柏亭《芙蓉湖》 五百城文哉《富士図》 三宅克己《農村風景》 三宅克己《伊豆風景》 大下藤次郎《館山》 大下藤次郎《富士を望む》 大下藤次郎《雲の観察・明治32年9月13日・正午・南》 大下藤次郎《雲の観察・明治32年9月下旬・西方午後5時》 大下藤次郎《浮き雲》 大下藤次郎《湖上の雲》 大下藤次郎《シドニー湾》 宮芳平《ハヶ嶽》 宮芳平《雲》 宮芳平《湖と乙女》 宮芳平《湖と乙女(月)》 アンドレ・マルティ『モード・エ・マニエル・ドージュルドゥイ』より《風の中の翼》 『ガゼット・デュ・ボントン』 19点

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	20,792	1,360	1,929	47	3,336	7,336	1,662	1,364	10,362
5月	37,966	5,948	6,053	47	12,048	6,263	3,845	9,505	19,613
6月	20,183	0	1,407	1,833	3,240	6,061	2,358	2,338	10,757
7月	23,693	2,850	3,579	0	6,429	4,414	4,226	2,538	11,178
8月	26,043	7,863	7,713	0	15,576	4,949	2,646	1,757	9,352
9月	24,861	3,035	3,672	0	6,707	7,047	2,296	5,522	14,865
10月	33,171	8,775	8,709	0	17,484	7,233	2,868	3,060	13,161
11月	30,831	4,177	4,481	0	8,658	6,610	4,686	4,511	15,807
12月	23,773	3,663	3,574	0	7,237	3,327	4,309	1,847	9,483
1月	26,439	4,505	5,281	1,565	11,351	6,570	3,785	8,626	18,981
2月	20,793	3,221	3,438	0	6,659	6,030	2,704	3,295	12,029
3月	21,717	2,007	2,348	0	4,355	4,440	3,419	1,404	9,263
合計	310,262	47,404	52,184	3,492	103,080	70,280	38,804	45,767	154,851

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	55	225	19	97	117	558	289	1,360
5月	280	1,349	108	588	598	1,925	1,100	5,948
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	147	542	74	176	393	1,114	404	2,850
8月	395	1,927	173	594	1,438	2,187	1,149	7,863
9月	157	608	74	158	791	925	321	3,034
10月	525	1,409	137	578	912	1,564	3,650	8,775
11月	176	972	104	330	357	1,249	665	3,853
12月	100	576	71	134	787	1,398	597	3,663
1月	146	958	90	221	1,075	963	1,052	4,505
2月	0	584	0	100	1,364	870	303	3,221
3月	0	428	0	50	309	929	291	2,007
合計	1,981	9,578	850	3,026	8,141	13,682	9,821	47,079

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	55	2	427	175	151	771	326	1,907
5月	280	58	1,442	629	598	1,925	1,121	6,053
6月	0	0	480	135	264	496	32	1,407
7月	147	0	654	248	861	1,309	445	3,664
8月	395	2	1,790	750	1,438	2,187	1,151	7,713
9月	157	1	849	300	899	1,194	374	3,774
10月	525	2	1,376	680	912	1,564	3,650	8,709
11月	176	0	1,001	460	721	1,422	701	4,481
12月	100	3	517	173	787	1,398	597	3,575
1月	146	0	1,088	307	1,196	1,443	1,101	5,281
2月	0	0	663	105	1,369	995	309	3,441
3月	0	3	534	7	363	1,090	303	2,300
合計	1,981	71	10,821	3,969	9,559	15,794	10,110	52,305

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
花とともに展	平成22年4月23日～5月31日	34	7,308
革の世界展	平成22年7月16日～8月30日	41	10,731
神々のすがた展	平成22年9月17日～11月7日	45	13,864
ロボットと美術展	平成22年11月20日～平成23年1月10日	41	10,291
島根県立美術館名品展	平成23年2月9日～3月21日	36	5,228
合計			47,422

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2,215	2,266	2,227	2,234	2,222	2,191	2,218	2,236	2,246	2,219	2,100	2,112

収支概要

■収支概要

(1) 支出予算

単位：千円

センター運営費	24,361
指定管理委託費	312,260
展覧会事業費	55,891
企画展示費	52,005
常設展示費	1,736
特別コレクション展示費	2,150
教育普及費	3,357
教育普及(誘客促進)費	2,081
調査研究費	1,868
情報提供事業費	1,105
美術品保存修復事業費	8,126
地域連携による石見神楽開催事業費	1,787
センター利用促進事業費	1,377
センター5周年記念企画展等事業	1,334
合 計	413,547

※2月補正額

(2) 収入実績

単位：千円

企画展	12,870
常設展	2,498
パスポート	5,256
目的外使用料	3,253
合 計	23,877

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

- 2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

- 2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

- 3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

- 3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

 1 施設の基準額
 (1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
 - 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
 - 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
 - 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合 その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を 観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。

島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
 - (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
 - (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
 - (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額
- 2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■鳥根県芸術文化センター（鳥根県立石見美術館、鳥根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 鳥根県益田市有明町5番15号
 [設計期間] 2001年4月～2002年7月
 [工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所
 [構造設計] 空間工学研究所
 [設備設計] 明野設備研究所
 [コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：鳥根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡
 [建築面積] 14,068.15㎡
 [延床面積] 19,252.45㎡
 1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡
 地下1階：3,045.66㎡
 [建蔽率] 38.4%（許容：60%）
 [容積率] 52.6%（許容：200%）
 [用途] 美術館・劇場
 [規模] 地上2階 地下1階
 [最高高さ] 32.24m
 [構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

- 空調設備、空調方式
 ホール・美術館：単一ダクト方式
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、
 空冷ヒートポンプチラー方式
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、
 ボイラー方式
- 衛生設備
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、
 その他：局所式（電気温水器）
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線
 設備容量：6250kVA
 契約電力：1500kVA
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備
 消火設備：全館スプリンクラー設備
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備
 （ハロンバンク登録）
 補助散水栓
 排煙：自然排煙、機械式排煙
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、
 非常用照明
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・
 砂濾過方式

[施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：三菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 施工＝益田窯業
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）
 ＝シマムラ
- 外壁タイル：
 施工＝協和タイル
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

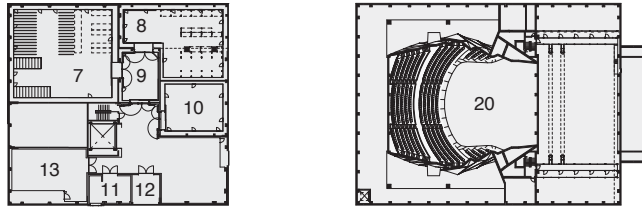
石見美術館	
● 展示前室	255.2㎡
● 展示室A	388.8㎡
● 展示室B	202.5㎡
● 展示室C	307.8㎡
● 展示室D	1091.5㎡
● 美術館ロビー	498.2㎡
● 搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
● 美術館搬入口	178.6㎡
● 収蔵庫1	290.3㎡
● 収蔵庫2	189.0㎡
● 収蔵庫前室	61.1㎡
● 一時保管庫	101.2㎡
● 修復室	35.6㎡
● 隔離室	22.8㎡
● 写真室	99.8㎡
● 学芸員室	61.8㎡
● 研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
● 応接室	43.0㎡
● センター長室	22.9㎡
● 副センター長室	22.9㎡
● ホール館長室	22.9㎡
● 事務室	170.2㎡
● 講義室	102.1㎡
● ボランティア室	43.4㎡
● アテンダント控室	20.2㎡
● 救護室	7.4㎡
● 授乳室	10.3㎡
● AV機械室	23.6㎡
● 中央監視室	47.3㎡
● 清掃員室	16.8㎡
● 回廊	1358.3㎡
● 中庭広場	2079.3㎡
● 美術館中庭	170.5㎡
● 事務中庭	220.5㎡
● 多目的ギャラリー	182.4㎡
● ミュージアムショップ	89.0㎡
● レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

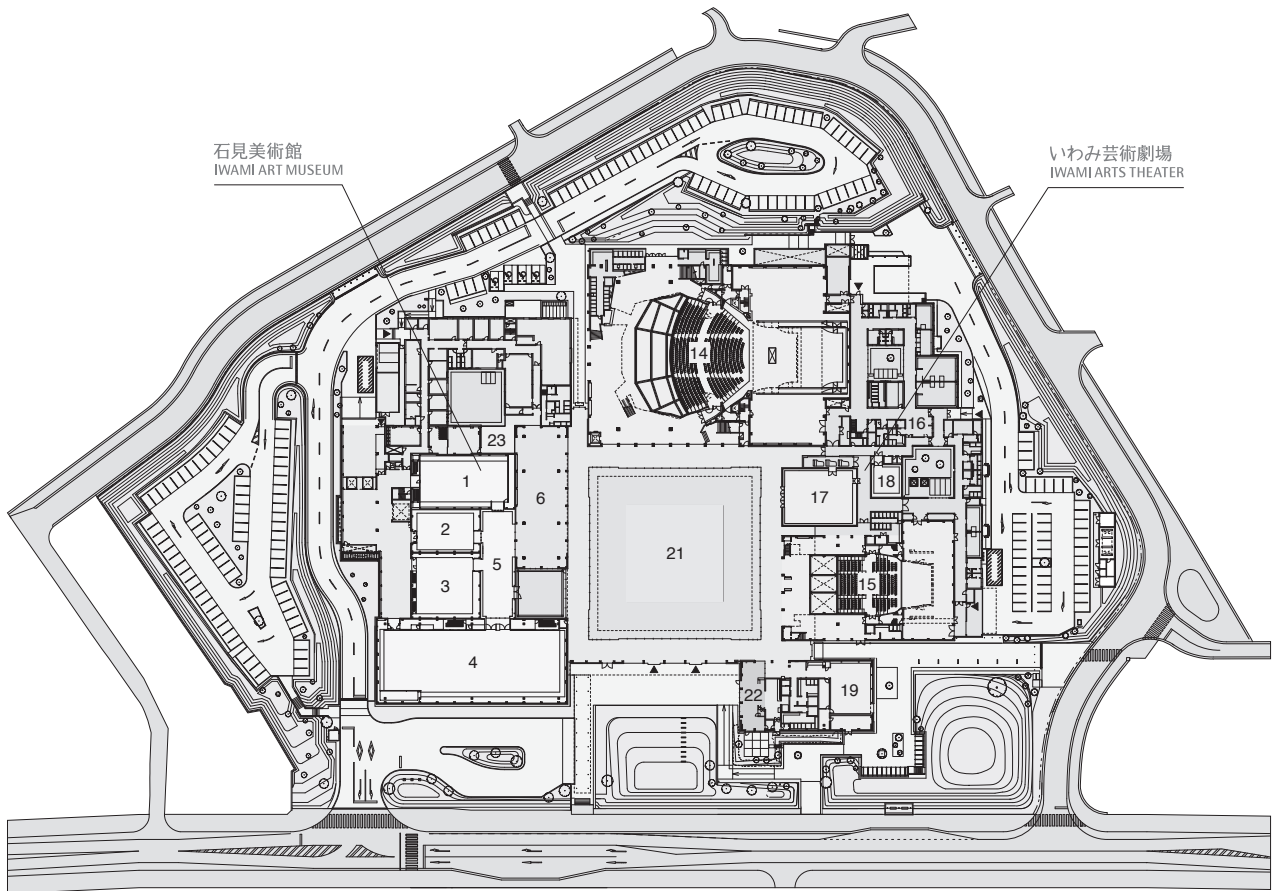
大ホール	
● ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
● 客席 1F/2F	1153.3㎡
● 舞台	1965.3㎡
● 親子室	15.1㎡
● 要約筆記室	14.7㎡
● 調光操作室	29.8㎡
● 音響調整室	24.4㎡
● 奈落	138.7㎡
● オーケストラピット	89.9㎡
● 客席ワゴン収納庫	197.7㎡
● 小楽屋1	19.6㎡
● 小楽屋2	19.6㎡
● 中楽屋1	31.0㎡
● 中楽屋2	30.9㎡
● 中楽屋3	32.0㎡
● 中楽屋4	32.0㎡
● 大楽屋1	73.4㎡
● 大楽屋2	74.0㎡
● 楽屋サロン	106.7㎡
● 主催者控室	10.3㎡
● 楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
● ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
● 客席	394.6㎡
● 舞台	416.6㎡
● 調光操作室	27.3㎡
● 音響調整室	26.8㎡
● 投映室	12.9㎡
● 小楽屋1	16.4㎡
● 小楽屋2	16.4㎡
● 中楽屋1	27.7㎡
● 中楽屋2	27.5㎡
● ラウンジ	74.0㎡
● 主催者控室	10.9㎡
● 楽屋中庭	174.2㎡
● 楽屋ロビー	43.0㎡
● 楽屋事務室	15.8㎡
● スタジオ1	256.4㎡
● スタジオ2	70.9㎡
● ピアノ庫	42.4㎡
● スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- 1:展示室 A
- 2:展示室 B
- 3:展示室 C
- 4:展示室 D
- 5:展示前室
- 6:美術館ロビー
- 7:収蔵庫 1

- 8:収蔵庫 2
- 9:収蔵庫前室
- 10:一時保管庫
- 11:修復室
- 12:隔離室
- 13:写真室

いわみ芸術劇場

- 14:大ホール
- 15:小ホール
- 16:楽屋
- 17:スタジオ 1
- 18:スタジオ 2
- 19:多目的ギャラリー
- 20:大ホール 2 F 客席

- 21:中庭広場
- 22:レストラン
- 23:ミュージアムショップ

運営組織体制

施設名称

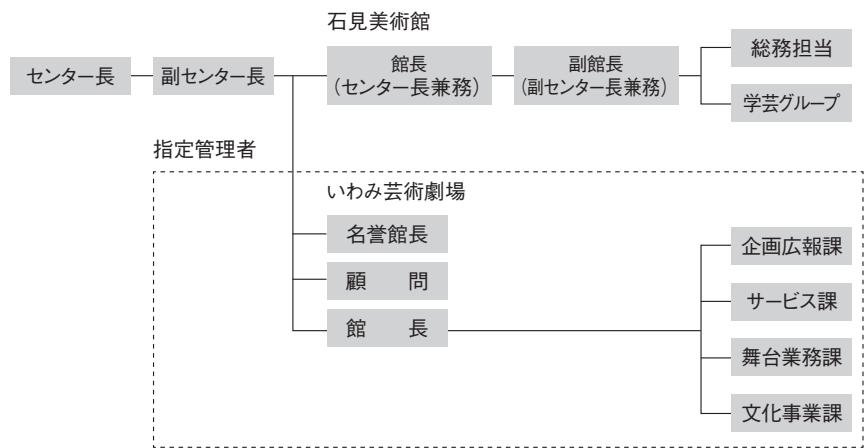
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

- 顧問 高階秀爾(大原美術館館長、元国立西洋美術館館長)
 遠山敦子(新国立劇場理事長、元文部科学大臣)
 島山博治(NHK理事)
 福原義春(資生堂名誉会長、東京都写真美術館館長)
 森 英恵(ファッションデザイナー)

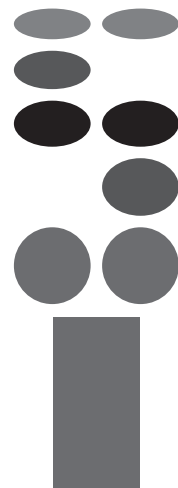
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール of 文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金

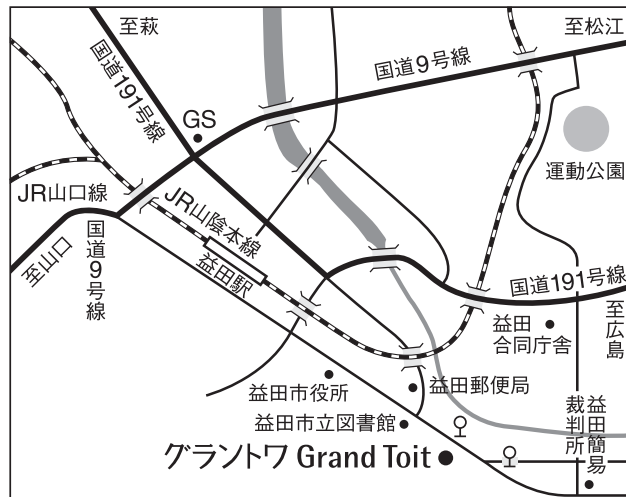
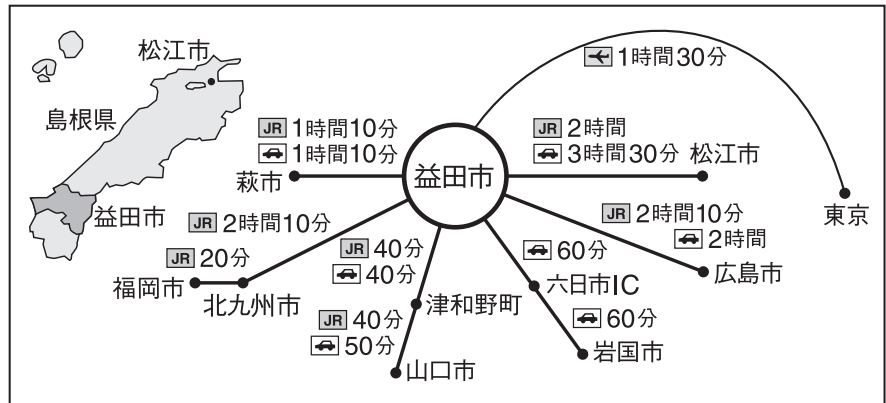
- ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
- ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通「グラントワ前」バス停下車(徒歩1分)
- ・JR益田駅から約1km(徒歩15分)
- ・萩・石見空港から約6km(連絡バスJR益田駅まで約15分)
- ・浜田自動車道浜田ICから約40km(自動車約50分)



平成24年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM